

令和6年度 消費者支援功労者表彰 被表彰者等一覧

1. 内閣総理大臣表彰 5件

(1) 個人(4件)

(敬称略)

氏名	住所	職業・役職	主な活動実績
あづま たまみ 東 珠実	愛知県名古屋市	堀山女学園大学現代マネジメント学部現代マネジメント学科教授	・消費者市民社会の実現のため、消費者教育、エシカル消費等の研究や普及活動に長年にわたり取り組む。 ・日本消費者教育学会会長として同学会の発展に寄与。また、企業や関係団体との連携促進に尽力し、消費者教育の推進に貢献。 ・社会活動として、消費者庁消費者教育推進会議の会長等を多数受任。
かわかみ しょうじ 河上 正二	東京都文京区	東京大学名誉教授・東北大学名誉教授	・平成23年から平成29年まで3期にわたり内閣府消費者委員会の委員長を務めた。 ・消費者庁や文部科学省、法務省などの審議会や委員会においても座長や委員として活躍し、特定商取引法や靈感商法に関する検討、大学設置分科会等で貢献。 ・学術組織でも重要なポジションを務め、私法学会理事長、日本消費者法学会理事長として、民法・消費者法等の研究の深化・発展に尽力。
まちむら やすたか 町村 泰貴	神奈川県横浜市	成城大学法学部教授 消費者支援ネット北海道理事・検討委員	・国民生活センター紛争解決委員会の特別委員等として、重要消費者紛争の和解による解決を図る。 ・特定非営利活動法人消費者支援ネット北海道の理事、検討委員として、不当勧誘行為や不当条項の差止めと集団の消費者被害の回復のための活動を継続。 ・相模原市消費生活審議会会長を務め、同市の消費生活安定のための施策に協力。
むら ちづこ 村 千鶴子	東京都杉並区	東京経済大学現代法学部教授 弁護士	・長年にわたり東京都の消費生活行政全般に深く関わり、その礎を築いた一人。 ・法学者として、消費者法分野の研究の発展に寄与とともに、同分野の権威として専門的な高い見識をもって法や条例の改正・見直しに尽力。 ・消費生活相談アドバイザー等としての消費生活行政の支援、法教育や消費者リテラシーの向上などの面でも精力的に活動を継続。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。

(2) 団体(1件)

(敬称略)

名称	住所	主な活動実績
とくていひえいりかつどうほうじんしょうひしゃきこうにっぽん 特定非営利活動法人消費者機構日本	東京都千代田区	・適格消費者団体として積極的に差止請求訴訟を提起とともに、事業者に対する不当な契約条項の改訂等の申入活動を実施し、消費者被害の拡大防止に貢献。 ・消費者裁判手続特例法に関する検討会にオブザーバーとして参加、消費者契約法や景品表示法等の改正に関する政策提言を行うなど、消費者保護に資する法内容の実現に尽力。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。

2. 内閣府特命担当大臣表彰 13件

(1) 個人(11件)

(敬称略)

氏名	住所	職業・役職	主な活動実績
あさだ りょうさく 朝田 良作	島根県松江市	島根大学名誉教授	<ul style="list-style-type: none"> ・島根大学で消費者問題等を研究分野として教へんをとり、大学院法務研究科長として多くの優秀な人材を輩出。 ・島根県消費生活審議会委員として県の消費者施策のあり方について学識経験者の立場から提言。 ・特定非営利活動法人消費者ネットしまねの理事長として、適格消費者団体の認定に向けて率先して従事。
おおやぶ ちほ 大藪 千穂	岐阜県岐阜市	国立大学法人東海国立大学機構 機構長補佐 岐阜大学副学長・教育学部教授	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者ネットワーク岐阜を代表として立ち上げ、現在も代表として、岐阜県の消費者被害防止・啓発活動を実施。 ・岐阜大学では、全学部の新入生が受講する消費者教育の講義を担当。日本消費者教育学会の会長を務め、全国の消費者教育の推進・啓発を実施。 ・岐阜県の消費者教育に多大なる寄与。
かみやま くみ 神山 久美	東京都国立市	山梨大学大学院総合研究部教育学域教授	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県消費生活審議会委員として、山梨県消費者基本計画、山梨県消費者教育推進計画の策定に貢献。 ・甲府市消費者安全確保地域協議会会長として、見守りネットワークの円滑な運営に貢献。 ・山梨県との共同開発により、小・中学校における消費者教育教材開発に尽力。 ・文部科学省消費者教育アドバイザーとして活躍。
かわぐち けいこ 川口 恵子	熊本県合志市	尚絅大学短期大学部名誉教授 日本消費者教育学会九州支部顧問 熊本家庭科消費者教育研究会顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・尚絅大学短期大学部教授として、消費者教育の研究と後継者指導に熱心に取り組む。 ・熊本家庭科消費者教育研究会の頭頭として、多様な主体が参加し、情報共有や学び合いなどできるよう取り組む。 ・日本消費者教育学会九州支部の顧問を務め、後進の育成に尽力。 ・NPO法人消費者支援ネットくまもとの理事を務める。
くにたけ ゆうと 國武 悠人	千葉県印西市	慶應義塾大学学生 デジタル庁デジタル推進委員等	<ul style="list-style-type: none"> ・新興デジタル技術に関連する消費者問題、とりわけメタバースについて調査研究を行い、その知見を広く関連団体、行政官、消費生活相談員等に共有するなど、消費者支援活動に貢献。 ・メタバースの調査研究を行うNPO法人を設立し、ユーザー保護や消費者間取引における隠れ事業者の問題などに係る政策提言などを実施。
さわむら みか 澤村 美賀	大阪府和泉市	和泉市消費生活センター消費生活相談員 大阪地方裁判所 堺支部 簡易裁判所 民事調停委員	<ul style="list-style-type: none"> ・和泉市消費生活センターにおいて26年以上にわたり消費生活相談員として、消費者支援、消費者教育に大きく貢献。 ・全国消費生活相談員協会の活動では、支部長を10年間務め、特に若年者の消費者教育、消費生活相談員の育成に尽力。 ・大阪市消費者保護審議会委員、国民生活センター紛争解決委員会特別委員として消費者被害を救済。
しもやま かずや 下山 和也	熊本県熊本市	弁護士法人アステル法律事務所代表弁護士 適格消費者団体NPO法人消費者支援ネットくまもと理事	<ul style="list-style-type: none"> ・適格消費者団体NPO法人消費者支援ネットくまもとの理事兼専門部会長として、不当約款改善の申入活動を主導。 ・熊本県消費生活センターの法律顧問として継続して消費生活相談業務への助言指導を行うほか、熊本県消費生活審議会委員として行政に助言指導。 ・シンポジウムでは、県内の消費者行政推進や特定商取引法の改正についての議論を主導。

たねいち ひろみち 種市 審査	富山県富山市	富山大学小児科講師	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科かつ救急・集中治療担当医師として、医療機関ネットワーク事業への事故情報の提供を主導する立場で貢献。 ・消費者庁が作成した「子どもの事故防止ハンドブック」の監修者の一人として携わるとともに、事業者へのアプローチも積極的に行っており、事故予防に資する表示の変更につながった成果を創出。
なかむら としはる 中村 年春	埼玉県朝霞市	大東文化大学名誉教授	<ul style="list-style-type: none"> ・大学教員、研究者として、消費者法、消費者政策等を教授するとともに、それらに関する論文、調査報告等の執筆活動に従事。 ・消費者に対する教育、啓発及び担い手の育成等に関する活動、消費者被害の拡大防止及び被害救済・回復を図り、消費者の消費生活の安全・安心の確保に関する活動等に尽力。
はまだ ようこ 瀬田 陽子	岡山県岡山市	岡山大学学術研究院社会文化科学学域 (法)教授	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県消費者教育・相談支援研究会の主要メンバーとして消費者教育教材の監修等に積極的に携わるとともに、県のOKAYAMA188(イヤヤ)AWARD(若者の消費者被害を防ぐ動画コンテスト)審査員に就任する等若者の消費者被害防止に積極的に活動するなど、同県の消費者行政の推進に多大な貢献。
むかいだ なおのり 向田 直範	北海道札幌市	北海学園大学名誉教授 弁護士	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人消費者支援ネット北海道の設立のため、設立発起人の座長を務め、また理事長として指導的役割を果たし、当該団体の基盤づくりに貢献。 ・消費者被害の未然防止・拡大防止に大いに貢献し、長年にわたり、北海道における消費者保護活動に寄与。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。

(2) 団体(2件)

(敬称略)

名称	住所	主な活動実績
とくていひえいりかつどうほうじんさいたましょひしゃひがいをなくすかい 特定非営利活動法人埼玉消費者被害をなくす会	埼玉県さいたま市	<ul style="list-style-type: none"> ・適格消費者団体として積極的に差止請求訴訟を提起するとともに、事業者に対する不当な契約条項の改訂等の申入活動を実施し、消費者被害の拡大防止に貢献。 ・特定適格消費者団体として被害回復訴訟を提起することにより、消費者に代わり財産的被害等の集団的な回復に貢献。
ふくしまけんりつあさかかいせいこうとうがっこう 福島県立あさか開成高等学校	福島県郡山市	<ul style="list-style-type: none"> ・県産の規格外・廃棄予定の果樹や野菜を活用した商品を開発し、規格外・廃棄予定の食品に付加価値を付ける取組を行った。障がい者の工質の向上にも寄与。 ・NPO法人と連携し、オーガニックコットンの栽培や古着の仕分け作業のボランティア活動を展開し、当該活動により回収された子ども服をアフリカの子ども達へ送り届けている。

(備考) 記載内容は原則として推薦時点のものである。